

日時：2020年2月7日（金）17:30-19:00

場所：東京大学 辻本先生研究室

出席者（敬称略）9名：小林、辻本、細谷、杉山、松山、深澤、橋口、雪本、福原（議事録）

<報告事項・審議事項決定>

1-1) 協賛企業 募集企業数をすべて申込完了 ⇒マニュアル送付（日本語）済み、英語版作成中@ハ
ンズ

・Varian Medical Systems (USA)：Dr.LaRue 講義協賛希望

1/22 に正式申込あり。

・シルバー スケアクロウが正式申込で、協賛企業完了

1-2) 通訳の決定

〈同時通訳〉

キーノート、レジェンド講演

ナイトセミナー

ビルバックランチョン

シンポジウム

JVCS ヒストリー信田先生（日曜日昼）

〈通訳なし〉

Oral

Poster コアタイム

〈逐次通訳〉

Oral の質疑応答：審議事項にたたき台あり。

1-3) ボールペンとメモパッド 850部納品：キャットリボンボールペンで了承済み。

1-4) 口頭発表15分／1題（発表10分・質疑応答5分：逐次通訳あり）で要旨校正時に連絡済み。

逐次通訳は希望がある場合のみ、必要なら申し出て頂く。

2 審議事項

2-1) 新型コロナウイルス対策

東京観光財団経由で厚労省の調査およびアテンド担当からの質問があり。

開催することをHPに記載する。記載内容はVCS Sandiに英語をチェックしてもらう。

参加費の返金はキャンセルポリシーのとおり無し。

招聘講演者には個別に連絡をする。

参加者にはHPとFBに掲載で告知する。

消毒剤等の設置をするため杉山先生が10個以上を立替仕入れしてもらう。

2-2) モデレーター

Keynote:アテンド担当にモデレーターを依頼する。

oral:アテンド担当の講演後の口頭発表のモデレーターも引き続き担当する。

2-3) 逐次通訳

病理 (F) のみ浅川翠先生に依頼を賀川先生経由で依頼する。

その結果を受けて口頭発表の質疑応答のみ久保田先生に逐次通訳をお願いし、希望があったら対応する。

2-4) 参加者に送付する事前メール内容★VCS 参考に作成する(福原)

2-5) Sandi の受付業務内容：通訳に問題生じるため語学ボランティアで対応する。

2-6) その他

賞状の手配する

- ・ 信田先生：名誉会員の賞状の他に功労賞のガラス製の盾で作る。
- ・ FunRun：参加者に会長と委員長のサインを入れて渡す。
- ・ Keynote は賞状は不要。

AWARD はどのように決定しておくのか？

- ・ Oral：クリニカルとベーシックで各1、Poster：評価 B 以上（5題）中1つ。

総合審査員：辻本先生、細谷先生が取りまとめる。

審査員：Keynote speakers とアテンド、参加する査読委員を1つのチームとする。

審査方法：査読の際に使用したスコアシートを細谷先生から提供頂き、当日に用意する。

マジシャンの手配：40 万円／5 名で交渉する。

以上。